

完了後の評価個表

整理番号	24
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	佐賀県
地域（地区）名	佐賀西部	事業実施主体	県、市町、森林組合等
関係市町村	唐津市ほか3市町	管理主体	県、市町、森林組合等
事業実施期間	H23年度～H29年度（7年間）	完了後経過年数	5年

<p>事業の概要・目的</p>	<p>本地区は、佐賀県の北西部に位置し、唐津市ほか3市町で構成され、北は羽金山、浮岳をもって福岡県と境をなし、東は羽金山から天山、八幡岳、眉山、黒髪山、神六山により佐賀東部地域森林計画区と境をなしている。南は神六山から国見山、国見岳により長崎県と境をなし、西は玄界灘に臨む松浦半島が突出している。本地区の特徴的な産業として、伊万里市において、臨海部に集成材等の木材関連産業、造船業を中心とする工業団地が形成されている。また、唐津市、伊万里市、有田町では、古来から窯業が盛んな地域であり、近年、ニューセラミック等先端技術の導入が図られ、工業用地が周辺地域に拡大している。</p> <p>本地区の森林は45千ha（森林率53%）と本県森林面積の40%を占めている。このうち、民有林が40千ha、人工林が25千ha（人工林率63%）となっている。人工林の齢級構成は約9割が8齢級以上と森林資源は充実しており、利用期を迎えた森林資源を有効に活用しつつ、水源涵養機能等の森林の有する公益的機能が持続的に発揮されるよう、効率的かつ効果的な森林整備を推進する必要がある。</p> <p>このため、地域の実情に合った計画的な利用間伐等の森林整備を実施していく上で基盤となる路網整備と併せて、森林組合や林業後継者の育成等による林業経営体の経営力の向上を推進することが求められている。</p> <p>このような状況を踏まえ、本事業では、木材等の生産及び森林施業の効率化に資する路網整備を実施するとともに、森林の有する公益的機能の維持増進を図るために必要な、造林や間伐等の森林整備を積極的に実施したものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p>森林整備：2,114ha 人工造林、下刈、除伐、枝打ち、保育間伐、間伐、森林作業道整備等</p> <p>路網整備：2,319m 林道開設</p> <p>総事業費：1,305,854千円（税抜き 1,219,744千円）</p>
-----------------	---

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和5年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>事業着手以降、優先度に応じた事業の実施に伴い林道の施工延長が伸びる等事業量が増加したことを踏まえ、今回、費用便益分析を実施した。</p> <p>総便益（B） 8,623,974 千円 総費用（C） 2,433,238 千円 分析結果（B／C）3.54</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐等によって2,114haの森林が整備され、水源涵養等の森林の有する公益的機能の維持推進が図られた。また、集約化を図り、列状間伐や高性能林業機械を使用することで、より効率的な作業が行われ、木材の安定供給が図られた。 ・林道の開設によって2,319mの路網が整備され、大型トラックによる木材の運搬が可能になり、木材の生産性が向上した。 ・森林整備や路網整備事業の発注により雇用の場が提供され、地域経済の振興に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、森林経営計画に基づき、継続して適切に管理されており、良好に管理されている。 ・整備された路網は、草刈りや路面の整備が行われており、良好に管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され水源涵養や木材の安定供給等といった森林の有する多面的機能が高度に発揮されている。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地区の人口は、年々減少傾向にある中で、林業就業者数は、平成17年度の158人をボトムに増加に転じており、40歳未満の就業者の割合についても比較的高い傾向にある。</p> <p>また、林業の現場では、生産性の高い高性能林業機械含む機械作業システムの導入が進められており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成していくことが求められている。</p> <p>さらに、森林整備に資する林道及び森林作業道の連結によって効率的かつ効果的な森林整備を推進することが必要である。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、森林施業や木材等の輸送の基盤である耐久性と利便性に富む路網の整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植え付けの作業効率の向上等の効果が期待されているコンテナ苗の導入、従来品種より成長速度が速い次世代スギ「サガンスギ」の普及により下刈回数等の低減など保育作業の省力化や低コストによる効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要である。また、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>地元の意見</p>

	<p>(佐賀県) 森林整備事業の実施により、水源涵養機能や山地保全等の公益的機能の発揮に寄与している。</p> <p>(唐津市) 森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるために、計画的な事業実施が必要であり、効果的な林内路網整備が実施されることで、森林整備が確実に実施されると認識している。引き続き、主伐、再造林、保育といった森林の循環利用の加速化に努め、森林の有する多面的機能の維持増進及び高度発揮に努めるとともに雇用の確保に向けた取り組みを推進していきたい。</p> <p>また、林業専用道の整備により、間伐等の森林整備が遅れていた箇所へアクセスが可能となり、施業コストの低減及び労力の軽減が図られ、林業活動の環境が改善された。</p>
<p>評価結果</p>	<p>必要性： 利用期を迎えた森林資源を有効に活用しつつ、森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるためには、間伐等の森林整備が必要であることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林整備では現地の状況を踏まえた効率的な作業システムにより、また、路網整備では集材効率の悪い箇所に路網を開設することにより、コスト縮減が図られており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られ、引き続き、その効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

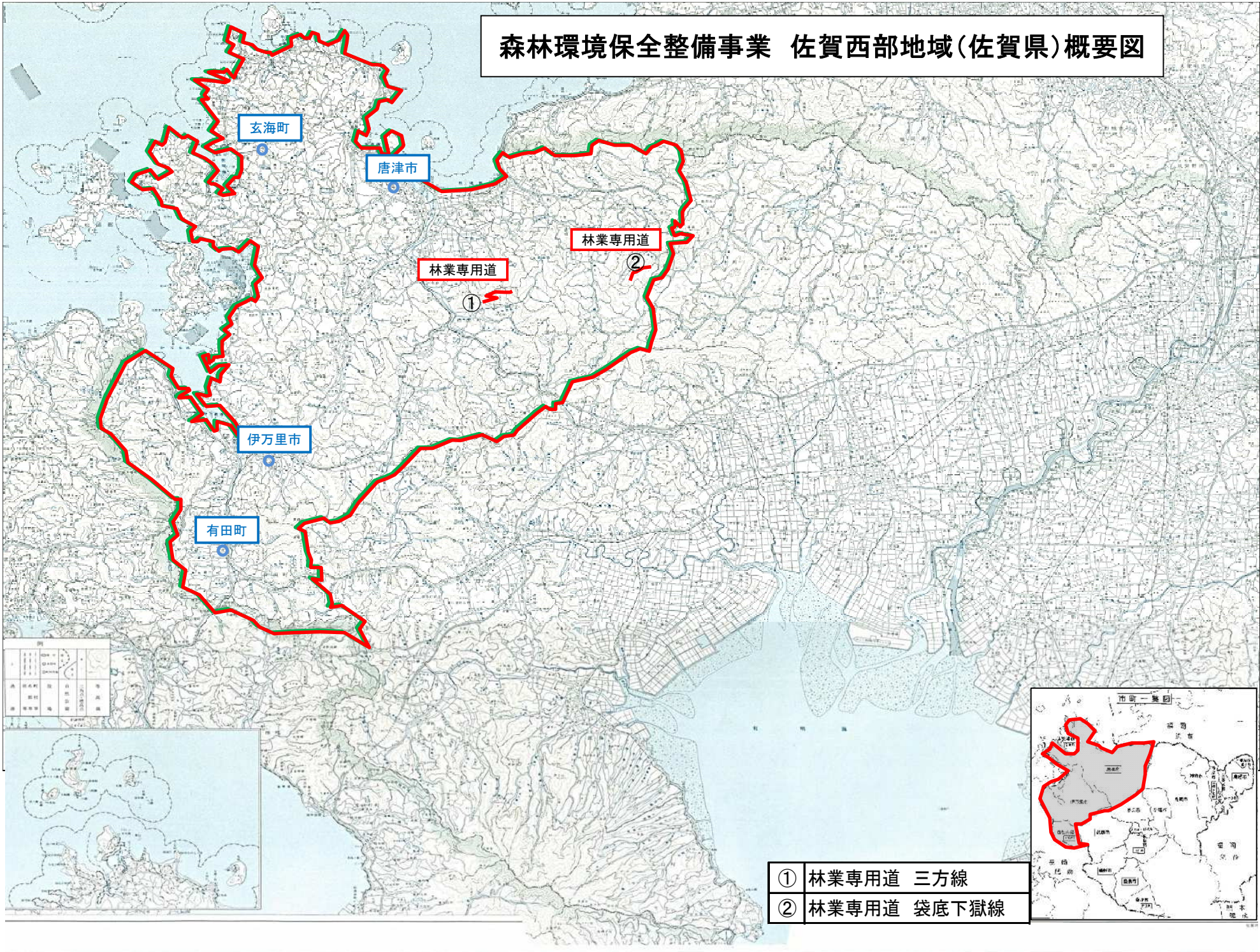
都道府県名：佐賀県

地域(地区)名：佐賀西部

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,639,943	
	流域貯水便益	679,161	
	水質浄化便益	2,764,521	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,017,839	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	5,405	
	森林整備促進便益	517,105	
総 便 益 (B)		8,623,974	
総 費 用 (C)		2,433,238	
費用便益比	$B \div C = \frac{8,623,974}{2,433,238} = 3.54$		

森林環境保全整備事業 佐賀西部地域(佐賀県)概要図



- ① 林業専用道 三方線
- ② 林業専用道 袋底下獄線